



No.533  
 治安維持法犠牲者  
 国家賠償要求同盟  
 編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都  
 文京区湯島2-4-4  
 平和と労働センター・全労連会館  
 電話 03(5842)6461  
 FAX 03(5842)6462  
 E-mail  
 chian@bz03.plala.or.jp  
 頒価 50円

国賠同盟 JR御茶ノ水駅での宣伝署名行動 (10月29日)

# 9条改憲阻止へ今声を上げるとき 治安維持法の実態を広く訴えよう

「同盟運動躍進年間」の成功めざしたみなさんの奮闘によって、新しい峰を切り開いてきました。改めて、心から敬意を申し上げます。全国2万人の同盟を達成するためには、全国的規模で実増4000人の会員拡大が必要です。これは、安倍政権の憲法改悪をめぐる情勢が要求しているものです。治安維持法犠牲者等の生命を賭して闘い、抵抗して獲得した日本国憲法の成果が破壊されようとしているのです。私たちはこの成果を断固守り抜かねばなりません。

安倍政権の改憲策動に会員拡大をもって反撃する、これが先達たちの闘いと抵抗の歴史を受け継ぐ私たちの務めです。

各都道府県本部の自主目標達成まであと20000人の拡大に迫っています。「みずから決めたことに責任を持つ」気概と構えを幹部・活動家のみなさんが持つならば、全会員さんの力を借りて自主目標1万80000の峰をさらに超えて、その上の峰に挑戦することは不可能ではありません。

北海道本部は会長が陣頭指揮を執って各支部の活動を励まし、各支部は支部長と役員を先頭に成果を競い合って「年間目標」達成を「運動化」する努力をしています。すべての都道府県本部がこれに学び、全国的規模で会員拡大の大きな波を作り出しましょう。

(2ページへつづく)

## 「同盟運動躍進年間」一ヶ月余 全会員の力を結集して、必ず達成しましょう

中央本部会長 増本 一彦

### 主な記事

- 「創立50周年・同盟運動躍進年間」の訴え 増本一彦… 1
- 各地域ブロック会議… 2
- 私も一言／根岸京田・東京民医連会長… 3
- 顕彰碑／須永 甫… 5
- 抵抗の群像／吉田 節俊・元同盟都本部会長… 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳… 7

# 各ブロック会議(続) 50周年飛躍へ豊かな経験交流

## 台風24号で短時間の交流会

### 東海ブロック交流会

10月1・2日、愛知県・三谷温泉で開催した東海ブロック交流会には62人参加。前日の非常に強い台風24号のためにホテルが停電、短時間の交流会となりました。

最初に中央本部の田中幹夫事務局長から「沖縄知事選で玉城デニー氏が大勝利し、安倍政権に痛打をあたえました。この勢いで全国1万6千人を超えた同盟会員の2万人達成に向け、東海四県の奮闘を」と訴えました。引き続き若山晴史副会長から「10万人の記録でたどる治安維持法の軌跡」を見ての解説の後、どの市どの町どの村にも国賠同盟の支部をつくらうとの訴えの後、散会しました。

### (1ページからのつづき)

この間開かれたブロック会議では同盟運動躍進のステップを作ってきました。

国会請願署名の自主目標の達成でも、改憲発議阻止の「3000

## 50周年躍進運動に全力

### 九州・沖縄ブロック交流会

10月16・17日に宮崎市で開催され、6県から54人が参加。初日、増本一彦会長が「創立50周年と同盟の役割」について、3000万署名、請願署名、2万会員拡大の成功を訴えました。松本隆共産党宮崎県委員長が来賓挨拶しました。

詩人・日本ペンクラブ名誉会員の南邦和氏が「治安維持法の畏の中で」と題して特別講演Ⅱ受難の文学者Ⅱについて資料を駆使して語りました。沖縄県本部から、沖縄知事選勝利の教訓と全国からの支援にお礼の特別報告に注目。2日目は、熊本県の人吉球磨支部結成後、2年で会員10倍化、八代支部も結成1年で5倍化したの「万署名」運動を進める諸団体への協力申し入れを強めるならば、力強い反応が返ってきます。すべての会員さんの力を集めて、ラスト・スパルトに拍車をかけようではありませんか。

【訂正】本紙10月号4ページの人を62人に訂正します。

は、同盟の役割、存在意義を明確にして実現した教訓を生きいきと報告。宮崎県からは、顕彰活動を報告。初参加の人も、「大変よかつた、署名活動にもっと力を入れたい」と決意を語っていました。

## 会員210人拡大の教訓学ぶ 北海道ブロック会議

9月24・25日、新十津川町で、第18回ブロック会議を行ない、40人が参加。フィールドワークでは、同町出身で日本共産党九州地方委員長となり、1933年2月11日、特高に虐殺された西田信春の旧宅、墓碑、農民運動に生涯を捧げた小坂小次郎の旧宅、墓、雨竜町で12年も闘った蜂須賀小作争議の舞台、農場旧事務所を訪れ、西田が北海道農民運動に果たした役割と九州での侵略戦争反対の闘いを学ぶ。

宮田汎道本部会長が「昨年6月から道同盟は210人を拡大、多くの教訓を蓄積してきた」と基調報告しました。

(3ページへつづく)



「石に刻まれた歴史」墓石の話。弘前大学の考古学者の調査・研究によると、庶民の夫婦墓・家族

墓が盛んになるのは17、18世紀からで「〇〇家の墓」に名前・没年月日が刻まれ、今日に続く。その墓石から江戸時代の人口変動などがみえてくる▼飢餓・疫病流行による深刻な被害は、残された藩の公文書の数値とは異なる実態が浮き彫りになるといふ。幕府に報告された藩からの数値は「過少申告」されたらしい。たとえば「宝暦の飢饉」の時、弘前藩では犠牲者なしと報告してお咎めを逃れたが、実際には多数の死者がいた。何やら今般の「森友・加計」問題の財務省ぐるみの公文書書き換え・隠蔽にそっくりな構図といえる▼  
「嘘つきは泥棒の始まり」とよく聞かされたが、権力者がその悪しき道徳規範を示している。でも、いつかその真実は暴かれることを「墓石考古学」が教えてくれた。  
今、怒りを込めて庶民は選挙の札で真実を暴く。  
(澤)

(2ページからつづく)

生活図画事件犠牲者の松本五郎氏(97)は弾圧体験を語り「日本が再び負の歴史を歩まないよう頑張りたい」と講演。未会員の参加者から「治安維持法で虐殺や虐待しても国は謝罪もしない。これは

### 県本部大会・躍進年間成功へ意気高く

#### 最高現勢で県本部総会

愛知県本部

第31回総会を8月25日、各支部

許されないと活動している同盟の仕事こそ、人間としてやらなくてはならないこと」と入会発言がありました。決議「自衛隊のシナイ半島派遣に反対する」を採択しました。

からの代議員45人の出席。前総会より着実に前進しているもの、新たな支部の誕生はありませんで

した。飛躍を作り出すためには、どうしても新たな支部の誕生が必要であることを確認。目的意識的に新支部設立に向けて努力する方針を採択。会長は西田一廣、事務局長に若山晴史を再選しました。

#### 3人が入会した

#### 長崎県本部大会

10月4日、大村市で開催。日本共産党県委員長・山下満昭氏と4人の市・町議員を来賓に迎え重みのある会となりました。

前半は中央本部副会長の石村善治氏が戦前の弾圧政治を具体的な体験を交えて講演。今の「世界に冠たる」日本国憲法の輝かしい意義を強調し、改憲勢力を打倒して死守しなければならないと訴えました。

大会では増本一彦会長のメッセージが紹介され、経過報告の後、今後の取り組みでは2年後の創立30周年に、県の先人顕彰碑の建立と犠牲者記録集の改訂出版が決定されました。

## 秘も一言

特定秘密保護法、安全保障関連法(戦争法)、組織的犯罪処罰法(共謀罪法)などを強行採決、成立させ、民主主義を踏みにじって暴走する安倍政権にとって、国民を監視し統

### 監視社会への警戒を

制することは重要な課題であろう。かつては情報を集めるために容疑者を拘束し拷問する必要があった。しかし現代はITの時代である。スマートフォンで買える物もできるし交通機関も利用できるし銀行振込もできる。個人の

#### 根岸京田

ねぎしきょうたの状況までも把握することが可能になる。そのような

情報を権力者が握れば、自分たちの欲望や不安を方向付けられ、消費行動や政治行動までコントロールされてしまうかもしれない。市民としての自覚を持ち、個人情報保護には常に目を光らせている必要がある。

(東京民医連会長)

#### 今こそ同盟の本領を発揮すべき

#### 広島県本部大会

9月22日、第27回広島県本部大会が広島市内ユーストピアで開かれました。

開会前に「自由はこうして奪われた治安維持法10万人の記録」を上映。

山田慶昭会長から他団体の活動と運動の教訓を学ぼうとあいさつ。

(4ページにつづく)



(3ページからつづく)

来賓の日本共産党広島県委員会  
常任委員・参議員候補の高見篤見  
さんから激励の挨拶。

「岩国基地拡張反対広島住民の  
会」 共同代表の坂本千尋さんの訴

### 創立50周年2万同盟へ各県本部・支部の取り組み

道内で、50周年130%拡大目標  
を最初に達成

北見支部

9月の支部総会では、さらに飛  
躍を目指し、次のようにまとめる。

(イ) 支部役員会では今日の情勢  
下で同盟拡大の意義を深く議論し、  
結びつきを活かし対象者を広げ、  
増本論文「国賠署名は何故大切か」  
を学習しました。

(ロ) DVD「種まく人びと」視聴  
を50回150人に広めた。映画  
「母」の上映を映画館などに働きか  
け、講演会は、拡大と署名の意義  
同盟の役割を学ぶように企画した。

(ハ) 目標をやりきる年間計画を  
役員会で具体化し、特に、年内目  
標を設定し粘り強く追求。この関  
門突破の経験を力にして取り組ん  
だ。今年も年内目標として会員1

え。増本一彦中央会長から「国賠  
同盟2万・広島県本部の目標達成  
を」と激励のメッセージを紹介。

来年は広島県同盟創立30周年を  
迎えます。会長は山田慶昭・事務  
局長は吉岡芳樹氏を再選。

00人突破、署名1300筆をや  
りきると決めた。「不屈」北見版で  
到達点を会員全体に知らせて  
訴えも出す。

(ニ) 支部20周年記念行事で、「小  
林多喜二」を上映し、拡大の大き  
な力にする。(道会長・宮田 汎)

#### 支部建設すすめ128人拡大

千葉県本部

千葉県本部はこの間、同盟50周  
年に焦点を合わせた組織拡大、と  
りわけ中村日出丸事務局長を先頭  
に新しい支部建設や休眠状態にあ  
る支部再建に取り組み、一定の成  
果をあげてきました。

現地に足を運び、打ち合わせを  
重ねるなかで佐倉支部、銚子支部  
が新たに発足、船橋支部を再建。  
また、柏市を中心とした東葛支部

の発足にもめどがつかしました。

さらに千葉市支部が、発足2年  
半で2・5倍化し、1000人の支  
部へ発展したのをはじめ、市川浦  
安支部、松戸支部など既存の支部  
でも、着実な会員拡大が続き、前  
年比128人以上増の387人に  
県本部では、年内目標を430人  
めざし、引き続き奮闘を誓い合っ  
ています。

同時に、県内出身者の顕彰活動

にも力を入れ、昨年は飯島喜美の

没後80年に続き、杉浦正男さん

(94歳)の「長寿を祝う会」を開催

今年、市川市出身の渡辺政之輔

没後90周年の記念講演会を10月に

開催、会場満席のなか日本共産党

の学術・文化委員会責任者の土井

洋彦さんが講演、大好評でした。

「署名推進委員会」の発足など

の体制を取り、全国の運動に連帯

し貢献していきたい。

(会長・小松実)

赤旗信州秋祭りで署名385筆、  
入会者2人

長野県本部

秋晴れの10月7日、第40回赤旗

信州秋祭りが、3000人を超え

る参加で開催されました。

柄沢名誉会長・遠山会長代理を  
はじめ多くの同盟員が参加して、  
署名や会員拡大に努力し、1日で  
国賠署名385筆、入会者2人、  
書籍・DVD販売2枚の成果があ  
り、今後の会員拡大と諸活動前進  
の足がかりを得ました。

(事務局長 竹村利幸)

#### 兵庫県本部結成35周年記念集会

10月14日、県民会館で国賠同盟

兵庫県本部結成35周年記念集会が

開かれ、130人が参加しました。

岡正信県本部会長と増本一彦中

央本部会長など来賓三氏が挨拶。

内田博文九州大学名誉教授が「治

安維持法と現代の国民統制」と題

して記念講演しました。

「明治憲法にも違反した治安維

持法、戦争批判を許さなかった。

この思想が日本国憲法無視の安倍

政権の共謀罪法に持ち込まれてい

る」と力説しました。

講演を聞いて励ましと勇気を頂  
いたとの感想。なお池辺幸恵さん  
が弾圧犠牲者の追悼を込めピアノ  
演奏、会員5人が増えました。

(事務局長 築谷時雄)

顕彰碑  
探訪

戦前・戦後ひとすじの道

須永甫 すなが はじめ

須永甫は1901(明治34)年、埼玉県下忍村(現・行田市)で地主の長男として誕生しました。

21年に明治大学商科に入学、陸上部に入り六大学対抗箱根駅伝競走で活躍。その頃、石川三四郎著『放浪八年記』を読み、階級社会の矛盾に気づき「政治のこと、経済の仕組みを勉強し、社会改革につくさなければ」と23年早稲田大学政治経済科に転校。社会科学研究会や建設者同盟に加入、行田足袋労組結成で連日駆け回るなど農民や労働者の運動に参加しました。

28年3月14日、労農党西部支部結成の演説会で演説し、検挙。この年11月、日本共産党に入党。29年、4・16事件で検挙、拷問。5月、市ヶ谷刑務所に収監。

その後、34年まで豊多摩・千葉南刑務所で獄中生活を送りました。戦後、45年11月、日本共産党埼玉地方委員会を創立、委員長に。61年、関東建設商事欄(今の関東建設興業欄)を設立、社長就任。地元の行田協立病院建設に協力、70年から行田医療生活協同組合監事、理事、常務理事など歴任。74年、治安維持法国陪同盟に加入、10月、埼玉県支部結成、支部長(後に会長)を94年まで務めました。75年、中央本部第7回総会で副会長に選任され、84年、会長、88年名誉会長を歴任しました。1988年10月、97歳の波乱の生涯を閉じました。



(岩田六治樹・埼玉直平本部事務局長)

韓国・平和連帯の旅を終えて

10月22日から5泊6日、増本一彦会長を団長とする総勢38人で、「韓国平和連帯の旅」が実施されました。釜山から入国し、朝鮮通信使史跡や和城址の見学から始まり、釜山の日帝強占下強制動員歴史館、釜山民主抗争記念館、ハプチョンで原爆資料館、ソウルで植民地歴史博物館、大韓民国歴史博物館、戦争と女性の人権博物館、そして延世大学キャンパス内にある詩人イヨンジュ記念館と盛りだくさんで、日本と朝鮮の近現代史



を学習する旅になりました。また、資料館等の見学とともに、韓国の市民運動団体(在韓被爆者、太平洋戦争被害者補償新協議会、従軍慰安婦の運動組織の正義連)の3団体との交流は今回の旅の大切な内容でした。特に、太平洋戦争で戦死して、強制的に靖国に合祀され、その取り下げを求めて裁判している「太平洋戦争被害者補償新協議会」の人々との交流は胸をうつものでした。いずれも戦後補償の未解決問題として私たち同盟とも共有できる運動です。朝鮮半島の平和構築も含めて、いずれの問題も解決を阻んでいるのは日本政府であり「安倍はやめる」ということが共有する願いであることが語られました。また、韓国ではこうした運動を若い人々が担っていることには驚きました。南北対話が始まって、自分の子どもにも「北朝鮮で働く事もあるかもね」「北朝鮮の女性と結婚したいね」という日常会話が語られるほどに南北融和が広がっている話もありました。対立から対話と平和への流れが確かに広がりがつつある韓国を感じる旅で、同盟50周年の記念の年に相応しい旅となりました。(旅行団事務局長 菅野亨一)

## 抵抗の群像



## 全協の活動で懲役4年の実刑、 軍隊の民主化に取り組み

よしたみねとし  
吉田節俊

吉田節俊は1910年、現在の東京都新宿区に生まれました。26年から新聞販売店に住み込み、配達をしながら実業学校に通いました。東京合同労組城西支部新聞班に加入し、新聞配達員のストライキにも関わりました。

同じ頃日本プロレタリア芸術連盟(プロ芸)に加入しました。プロ芸の総会が解散させられたとき、抗議デモに参加して検束され、新聞店を餓首され、学校も放校となりました。

29年2月頃から旋盤工の見習いをしながら、「政治的自由獲得労働連盟」の活動に参加。この年の春から秋にかけて、全協機関紙「労働新聞」のレポーターとして、原稿集めの仕事をしていましたが、10月に検挙され、四谷警察署に連行されました。そこでは2日間にわたって拷問が続きました、3日

目に新橋警察署にまわされましたが、留置所の中で体調を崩してしまい11月末に釈放され、大阪の両親のもとに引きとられました。

体調が快復した吉田は、30年春に大軌電車(現在の近鉄)の運輸部に採用されました。31年春、会社の従業員共済組合の委員に選出されたのを機会に、全協日本交通大阪支部と連絡をつけました。そして共済会活動を中心しながら、会社に労組を結成することに力を注ぎました。また同年8月には日本共産党に入党。職場に「赤旗」を配達するようになりました。

32年7月、3人の特高刑事に襲われて額田警察署に連行され、2日間拷問されたあと、大阪府警本部に移され、11月末に起訴留保で釈放されました。すでに会社は解雇されていたので、釈放後は全協日本交通関西支部の活動に奔走し

ました。大軌電車、大阪市電、京阪電車、大阪タクシー、国鉄奈良機関区などの組合支部のオルグ活動が吉田の肩にかかってきました。33年3月、数人の特高刑事に襲われ、曾根崎警察署、大阪府警本部で拷問もまじえた厳しい取り調べを受けました。3カ月後に起訴され、身柄は堺刑務所の未決房に移されました。35年7月に求刑通り懲役4年の判決が下りました。

この頃全協組織は壊滅状態であり、検挙以来組織からの連絡は一切なく、裁判の傍聴人は吉田のよき理解者であった父親一人きりでした。その父も吉田が服役中に亡くなりました。

38年1月に満期出所した吉田は上京し、蒲田区の工場で働いていましたが、41年10月に召集されジャワ島西部に赴きました。そこで終戦を迎えるのですが、復員までに時間がかかりました。戦争が終わっても軍隊規律は依然として存在していました。将校たちは農作業をすることもなく豪華な食事をして

当番兵を使っていました。

吉田は兵士の先頭に立ち、下士官たちの協力も得て、隊内の民主化運動に取り組み、成果を上げました。吉田の部隊が和歌山県田辺港に着いたのは46年5月でした。

治安維持法国家賠償要求の歌

吉田節俊

嵐をくぐってきた我等

きづこう社会のいしげえを

老いも若きも腕をくみ

我らの歌をとどろかさう

頑張ろうともに頑張ろうともに

治安維持法のあの鉄鎖

今またひらめく悪刑法

皆の力で粉碎し

国家賠償をかちとろう

頑張ろうともに頑張ろうともに

明るい社会は今そこだ

すぎし闘いもにして

はたらく者の団結で

元気で愉快にかちぬかん

頑張ろうともに頑張ろうともに

(1977年会報42号掲載)

(後藤太刀味・同盟東京都本部

副会長)



# 同盟文芸

## 短歌

碓田のぼる選

権力の総攻吏に立ち向い知事選大勝なりスーパード  
思わず祝いのステーキ肉買う 岐阜県 田中 良  
行動の呼びかけピラをつくる夜もわが胸熱し沖繩の  
声あり 埼玉県 白川 洋子

辺野古阻止へサンゴも喜ぶ青い海デニー玉城に民意  
のうねり 福井県 元山章一郎

沖繩へ友はカンパを送りたり少しは役にたてたと誇  
る 静岡県 江川 佐一

生きるためにこそ死はあるや翁長氏の希望のオーラ  
で歓喜に浸る 鳥取県 大久保禮吉

デニー氏の勝利に湧けるVサイン「沖繩を返せ」の  
歌こえがする 岩手県 小杉 正夫

沖繩の民の命守らんと頑張り抜きし知事を悼みぬ  
兵庫県 岸本 守

公約の「築地は守る」はどうしたかなぜマスコミは  
批判をしない 大分県 渡辺 幹生

盆で知る被爆者救助似の島であたりし祖母の被曝の  
実相 島根県 小玉 伸恵

出獄の多喜二迎えし福元館養生の姿今に伝える  
埼玉県 福家 駿吉

〈選のあとに〉  
沖繩での勝利が不屈の歌壇をゆする。1番目より

7番目まで。思わず家計をはずませる。サンゴも喜  
べ。地域での胸を熱くしている姿。勝利を導いた翁

長さん追慕など。たたかいは他の課題にもわたった  
と終わりの3首がある。

## 俳句

望月たけし選

沖繩の秋の天地や勝利二字 神奈川県 天野三葉子  
沖繩よ心の基点秋や佳し 埼玉県 小池 荘八  
沖繩の頸直の民秋燃ゆる 岩手県 島山 文裕  
海守れ命をかけて秋薫る 兵庫県 岸本 守

「署名を」青年訴う菊日和 三重県 橋本しげる  
〈評〉一句目の「勝利」二字に満ちている沖繩県知事

選の歴史的勝利。この力で辺野古新基地をつくら  
ないたたかいをさらに強め、アベ異常政権をおわ  
せたい。たたかいの中で、短く輝く詞語を生み出  
す。

## 川柳

鈴木いさお選

多喜二さんどう生きますかこの日本

大阪府 大和 峯二

〈評〉一強が三選を果たし、この国がますますあ  
らぬ方向へ進みそうな昨今。この苛立しい思いを作  
者は川柳で世に問う。そして多喜二にも。

ウチナーンチュ苦難乗り越え希望の灯

鳥取県 大久保禮吉

知恵が尽きもんじゅ魔炉に三〇年

大阪府 佐々木雅博

デニー勝つ心ひとつの島本土

埼玉県 福家 駿吉

不掲載は変えろ肩入れ不公平

大阪府 堺谷九条男

鳥取県八頭町議会

治維法犠牲者への謝罪・賠償  
求める意見書 全会一致採択

鳥取県八頭町議会は、同盟東部  
支部が提出した治安維持法犠牲者  
への謝罪と賠償を求める意見書を  
9月21日、全員一致採択し、意見  
書を提出しました。

同議会は3年前に意見書を否決。

今回は、町長、議長に署名をもら  
い、それを持って全議員を訪問し  
て要請、1人以外は  
全員が署名に協力し  
てくれました。



(同盟東部支部長石  
川雄光)

多世代交流集会で7人加入

同盟岐阜県女性部

多世代(4世代)交流会は、2  
017年から4回開いてきました。  
「戦争の時代の少女」物語をきい  
た小4の女の子が紙芝居にしたり、  
この子は「原水禁大会」に参加、  
大きくなったら、戦争に反対する  
団体に入りたいと感想をのべまし  
た。この活動の中で7人の会員が  
増えました。今後青年層に働きか  
けようと話し合っています。

(岐阜県女性部 交代ちづ)

### 沖繩知事選の圧勝

辺野古新基地許さぬ展望開く

翁長前知事の県民葬に安倍首相代理で出席した菅官房長官の「基地負担軽減発言」には、「うそつけ」「新基地建設やめろ」「帰れ」などのはげしい抗議の声があがりました。

デニー知事と安倍首相との最初の会談でも、首相は沖繩の要求をはねつけました。政府はそのわずか5日後に、法をねじ曲げて「県の埋め立て承認撤回に対する対抗措置」をとり、県民の大きな怒りが広がっています。政府の「基地移設方針」についての世論調査で

も、「反対」が共同通信で54%、朝日新聞では55%です。沖繩県知事選挙の闘いが全国の世論を確実にうごかしています。

県本部の会員も全県各地で奮闘しました。全国の大きな支援をうけての県知事選挙勝利に確信をもち、デニー知事を支え、全国と連帯して「新基地建設反対」の闘いをすすめていく決意です。

知事選挙のあと、豊見城市でも「オール沖繩」の山川候補が勝利、10月21日の県都那覇市では城間みき子市長が前回の得票差を大きくひろげて勝利しました。

(沖繩県同盟 村山純)

### 年末の「財政活動強化」を心から訴えます

会員と読者のみなさん、創立50周年の今年、多大なるご協力に感謝申し上げます。引き続き、年末の財政活動強化にご協力ください。

- 1、2万人の同盟へ！ 会員拡大と会費の納入にご協力を
- 2、「年末募金」(1口1000円)にご協力を

- 3、新年名刺広告にご協力を
- 4、全県で50周年記念2000万円募金の目標達成を

- 5、「治安維持法と現代」、「抵抗の群像」第3集、50年の歩み(年表)、DVD「種まく人びと」など、同盟の出版物の購読と普及にご協力を

創立50周年記念会員拡大  
5人以上の顕彰者  
(10月29日現在)

第12次発表・8人(累計119人)

【北海道】2人(累計20人)

牧野秀夫、宮田美津江

【山形】1人(累計2人) 平田啓一

【秋田】1人、遠藤嘉恵

【茨城】1人、久保田俊雄

【東京】1人(累計13人) 高橋陽子

【奈良】1人(累計2人) 田辺実

【静岡】1人(累計6人) 寺田美智子

### 事務局日誌

10月1〜2日 東海ブロック会議

10月3日 全労連会館防火訓練

10月12日 「不屈」編集会議

同日 「平和の権利」実行委員会

10月13日 大阪「文化と講演のつどい」

同日 東北ブロック県担当者会議

10月14〜15日 四国ブロック会議

10月16日 国際人権活動日本委員会幹事会

10月16日 九州ブロック会議

10月16〜17日 九州ブロック会議

10月22〜27日 韓国平和連帯の旅

10月24日 日本母親大会実行委員会

10月25日 日本母親大会省庁要請会

10月25日 日本母親大会省庁要請会

## 2018年秋季号 『治安維持法と現代』 発売中



【主な内容】同盟50周年記念号 安倍異常政権の深層を衝く—3選されても嵐の中の船出となった安倍首相=五十嵐仁、翁長知事の遺志は県民と玉城デニー新知事に受け継がれた=宮城達、今日における請願権の意義=小沢隆一、小樽商大・小樽における浜林正夫伝説=荻野富士夫、「日本資本主義発達講座」における野呂と山田の協働のひとコマ=宮川彰、〈実証・治維法弾圧〉新資料が語る父・菊池国作の奇跡=平山知子、治維法に抗って—父・溝川良治の足跡=溝川悠介、愛知の誇り長谷川民之助=西田一廣、尹東柱・治維法の犠牲者=池田功ほか。A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌 発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟